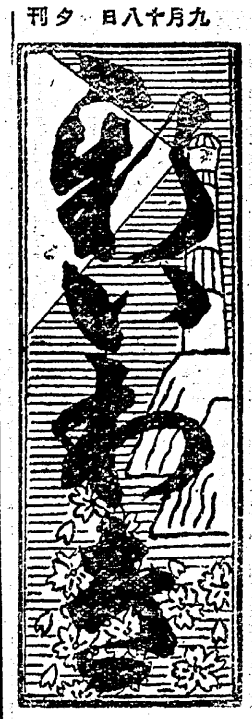
九月十八日　夕刊



日刊但シ日曜祭日除ク
日休刊一ケ月廿五錢
郵税十五錢一部二錢
廣告料　一行四十錢
場所指定　二十錢增
發行兼編輯印刷人　牛谷政喜
發行所　福島縣平市大町二三
新いわき新聞社

縣下三市の特戸と新平市の同税額

新しい仲間の釜石及び栃木　隣縣水戸市の同現況

市町村の特別戸數割賦課總額は大体に於て經常豫算の四分の一に當り市町村税收入總高の半額が普通であるから此の目安の上下に於て其の市町村の財政經濟の或る程度までを窺ふことが出來る譯であつて殊に特戸割の右目安の高低動態は其の市町村經營の苦樂を一層深く察知し得るものである試みに石城郡昨年の各町村税總額を上ぐれば八十四萬七千九百四十六圓で内特別戸數割は四十五萬一千六百二十九圓而して豫算の總額は百九十七万三千四百圓であつた此の豫算の上より見る今十二年度の平市の特別戸割總額九萬八千二百三圓は石城全郡の大体五分の一で經常豫算の四十五萬圓余も恰度郡豫算總額の五分の一に當つてゐる故に特戸割の輕重は歳入豫算の半ばを負ふところの資産及び生産附加税が割合に少ないか又は臨時豫算に過大なものがある場合に於て或る程度の重課を免かれない平市について今十二年度の特戸割を縣下四ヶ市に比較すれば

	住戸數	賦課戸數	免除戸數
福島	九二一〇	八五七八	四五
若松	九一四七	九〇三八	一三五
郡山	一〇三八〇	一〇〇四五	三三〇
平	五六五九	四二一〇	二四九

賦課總額

	一戸平均
福島	一五六〇八六円
若松	一五一七八
郡山	一九二九四
平	九二〇三

平均以上

	戸	円
福島	一七二三	一七、二〇
若松	一七〇二	一九、二〇
郡山	一七五五	一八、一五
平	一〇四一	四五〇五

平均以下

	戸	円
福島	六八六五	七三二〇
若松	七三二〇	八三一〇
郡山	八三一〇	四五〇五
平	四五〇五	最低負擔

最高負擔

	円	
福島	二七五四六一	二三
若松	二九五五二二	七三
郡山	六九二二〇五	六五
平	四四一二四	一六

であつて更に隣接水戸市の同現況を上ぐれば住戸數一三一〇九、賦課戸數一二九一一、免除戸數二四二、賦課總額一四一二〇二圓、一戸平均一一圓〇七四、平均以上二五七七戸、同以下一〇三三四戸、最高負擔一一三一圓五九、最低一〇錢で最近市制を施行した釜石及び栃木の同狀況を示せば左の如くである

【釜石】住戸七六三八　賦課戸七二三七　免除戸三五　賦課總額一〇四八九六圓　一戸平均一四圓四九四　平均以上一三一九戸　同以下五九一八戸　最高負擔一一五四圓三三　最低三五錢

【栃木】住戸六一四九　賦課戸五五五六　免除戸九九三　賦課總額七七五一五圓　一戸平均一三圓九五　平均以上八三一戸　同以下四七二五戸　最高負擔二一四七圓九三　最低一〇錢

平署に寄託された國防と慰問の獻金

今十八日迄に九百五十一圓　溢るゝ銃後人の赤誠

今次の事變以來平署に寄託された銃後からの獻金は國防及び慰問費を合せて今十八日までに九百五十一圓五十六錢に達したが最近のもの左記の如くである

平市露店商人の代表者字新川町藤太一郎、鈴木庄次、牧野長吉は過ぐる赤井嶽樂師祭で集めた露店商人からの六圓三十錢と市内縣社飯野八幡神社祭の同集金七圓八十七錢の計十四圓十七錢を昨十七日國防費に獻金を平署に寄託、また石城郡永井尋高校の生徒一同は小使錢の節約三圓六十三錢を、同じく國防費に平市字二丁目吉川義彦さんは金三圓を市内出身軍人の家族慰問に充てゝ欲しいと何れも平署に寄託した

秋蠶飼育で國防獻金

石城の山田校で

石城郡山田村の小學校では大越校長以下職員と兒童で秋蠶一グラムの飼育を行つたところ見事な出來榮えで品評會を開催したが優良者に對しては賞狀だけで賞品を節約し金十五圓を去る十六日國防費に獻金した

生華師匠から三十二圓

平市軍事後援會へ

石城郡高久村の生華師匠須藤まつのさんは過ぐる平市鎮座の縣社飯野八幡神社祭に於て市内縣農銀支店前に門生一同の奉納生華陳列會を開催の當を時局柄これを取止めて五十七名の門生から集まつた同費用三十二圓を平市軍事後援會へ今十八日寄附した

日本刀二口と新式拳銃

皇軍へ寄贈

石城郡川前村の上柿賓字下澤尻の行政區長根本菊太郎（四〇）氏は去る十六日平署を訪れ自分は最早前線に起てない身であるから銃後に於て幾分でも國家に盡すことが出來れば幸であるこれは大したものではないが皇軍に贈つて欲しいと新式拳銃と日本刀二口を差出したので同署では其の篤行に感謝し右を添えて縣警察部へ廻送した

石城梨の共同出荷

今日四倉驛から八トン一車　今年は四十車位の見込

石城梨（長十郎種）は收穫盛期に這入つたので今十八日大野村果樹組合から四倉驛發送で八噸一車を中央市場に共出荷したが明十九日は好間組合から一車次へで小川、赤井産も廿日頃同樣出荷の模樣である長十郎は目下熟期盛りで早生赤今月末頃から出廻るらしいが日頃の降雨は梨の成育に好果を惠んだので若干出來方を回復するものと見られ尚ほ本年の汽車輸送は聯合會その他を以て四十車位に達する豫想であると

動力籾摺講習修書授與

今日縣農試石城分場で講生四十名に

石城郡動力籾摺業組合會主催の動力籾摺講習會は去る十六日から三日間縣農試石城分場に於て催され農試本場農具主任技手豊吉正三氏の講師により機械の解体組立から修理等に至るまで當業者に益するもの多く受講者四十名に對し講習最終日の今十八日午後三時修得證書の授與式を擧げて散會した

軍藉者の行方不明

實父から捜索願

相馬郡中村町の原釜赤城惣七の倅信吾（二七）は去る八月十三日簡閲點呼を受けた軍藉者であるが其の後石城郡湯本町方面の炭礦で稼いで來ると出かけたまゝ音信もなく行方不明の爲め今十八日實父惣七から平署に捜索方願出た

流言蜚語で處分さる

出鱈目を吹聽する赤井の日雇業

平署では時局に關する流言蜚語に對し嚴重なる注意を拂つてゐるが石城郡赤井村の大字赤井字當住居住日雇業班目嘉助（六三）は去月三十日正午頃同村根本千次方で居合した村内の吉田佐内外三名に同村の應召者について根も葉もない流言を放ち前記聽者側にそんな馬鹿なことがあるものかと打消されたので其の場は大した影響はなかつたが其の他に於ても物知り顔に同樣のことを言觸らし無智なものを迷はして嘘から嘘を流布させたことを發覺平署特高の取調べを受けて處分されたがなほ此の外人心を惑はす出鱈目を吹聽する同署管下の二名は嚴重なる説諭で向後を戒められた

貯金通帳を盜んで印章を僞造

石城郡錦村の昭和人絹職工一條要吉（二〇）假名は最近植田局から貯金三十圓を拂戻したが同人の平常より不審がつき此の程また〳〵同局より貯金の拂戻しをなさうとする所を捕へられて植田署の取調べ中である要吉は去月二十七日居村の眞弓喜惣治方不在に忍び二百五圓記入の郵便貯金通帳を盜み出し印章を僞造して拂戻してゐたものであると

盜んだ品の投棄か

重量八貫目の銅製の機械部分品

平市字掻槌小路二八本田昌幸さんが昨十七日午後五時半頃同町内側溝の中に銅製機械部分品約八貫目がドブに埋まつて僅かに其の一端が見えるのを發見して今十八日朝平署に届出でたが右は全くの遺失物とは思はれず賍品の處分が意の如くでなかつた賊が投棄したものでないかと見られてる

四倉生れの大工酌婦と情死

去る十六日夜長野縣西筑摩郡讀書村三留野大桶旅館へ名古屋市南區新宮崎町一二七大工職緒方新次郎（二七）及び同人妻とめの（三）と稱して投宿した兩名が翌十七日午後に至るも起きた樣子がないので不審を抱き座敷を見ると共にアダリンを多量に嚥下情死をはかつたことが判り女は昏睡狀態だが意識を回復した、男によつて取調べの結果同人は石城郡四倉町生れらしく女は縣内飯田市上飯田町料理店若狹屋方の酌婦小池せつであることが判つた、尚ほ原因は取調べ中であると

高級白梅便箋
實用忠孝便箋
便箋文鳥便箋
名作畫箋
代理店　魁文堂　電三一三

銃後施設（十）

軍事扶助法の大要

また關係家族遺族の後援については此の際特に我が國古來の醇風たる隣保相扶の精神を發揮すべきときと考へられるので近隣の人々は勿論、在鄕軍人會、男女青年團、婦人會等各種民間團體員の人達は最寄りの關係家族遺族に對し常時慰問に努むると共に必要に應じ家事農事その他に關する勞力援助等を行ひ、相扶の手を進んで差し延べ、また關係家族遺族の良き相談者となつて出動または應召軍人をして銃後に少しの不安をも感ぜしめぬやう共に力を効されんことを切望する

事變勃發以來國民の示した熱烈なる後援は實に驚異的のものであつて恤兵慰問金品の如きも陸軍省、海軍省及び内務省の受付合計は八月四日現在に於ては銃後の後援の資として金二百六萬餘圓、慰問袋約十三萬個、雜品約七十萬個と云ふ巨額を示してゐる、

此の物質的後援の背後に潜むゆるがなき精神的激勵こそは各種軍事扶助事業の完璧と相まつて後顧の憂ひを全く除き忠勇なる皇軍の志氣を彌が上にも振起せしむるものと謂はねばならぬ、我々は今後も引續き銃後の護りを堅ふし内外相呼應して一丸となり東亞の平和確立の大使命に邁進すべきを痛感するものである

（内務省社會局）…完…

常識講座

アブストラクト（アブストラクション）は抽象的の高尚の虚心、概念等の意、フブソリューチズムは絶對、無限安全、專制主義、專制政治、アブセス（セント）は不在、欠席、欠勤

今晩は北西の風、晴後薄曇
明日は北東の風、曇後雨
（小名濱測候所）

麥作の施肥は斯うする（六）

縣農試松浦生

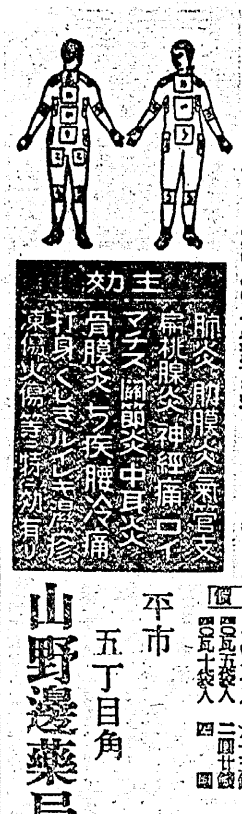
麥の追肥について是非注意して貰ひたいことは兎角追肥の施用時期が遲れがちになることである、この原因としては農家がぼんやりして時機を失することもあるが其の他に天候との關係が大いにある樣であるから少し早目に施用してしまふ心組でゐる方がよい追肥は遲くとも三月末迄、消雪遲き地方では四月上旬までに施用してしまはなければ成熟を遲らせ病害に犯され、收量を減ずる樣になる、從來この點を相當やかましく云つても中々實行されないから麥には追肥をやるなと云はなければならぬ樣になる、こんなことを云はれないやうに心掛けねばならぬ、

四、麥と三要素との關係について述ぶれば

窒素が最も必要である點はすべての作物に共通である、特に麥は窒素肥料の施用による增收は著しいから從來麥には餘り肥料をやらないことが一般であるが矢張り相當肥料を施用する方が得策である、反當窒素量一貫五百匁乃至二貫匁位が適當なところであらう、燐酸も麥には非常に大切な肥料で反當一貫以上は施用しなければならぬ場合は第一生育が遲れ出穗成熟が遲くなる、又穗揃へが悪く熟れ方が整一でない、餘り多量に施肥してゐない麥で前述の樣な狀態を呈するものは大抵燐酸不足と考へてもよい、今年刈取つた麥のこゝを掘返つて見て心當りのある場合は今秋には過燐酸をも少し多量に施用しない

慢性の品良優も豚も牛
平市町田
内の御用命は

◇一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社印刷部



特長
肺炎・腹膜炎・氣管支・扁桃腺炎・神經痛・口内炎・マヒス・關節炎・中耳炎・骨膜炎・ちび疾・腰冷痛・打身くじき・ルピ・凍傷・東傷火傷等特効有り
主効
定價
四〇瓦入　五十錢
八〇瓦入　九十五錢
四瓦五袋入　二円廿錢
四瓦十袋入　四円
平市五丁目角
山野邊藥局

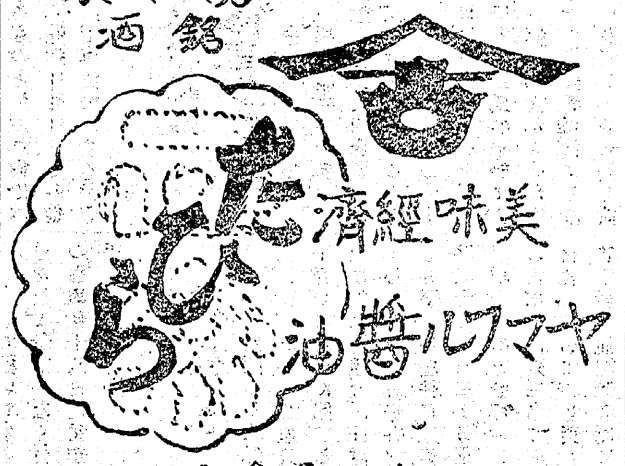
藤沼醫院
平市紺屋町　電五〇七

病室增築、手術室完備
産科　婦人科　醫學博士　五十嵐雄二
平市新川町『電話三六九番』

平市田町　電話五一三番
高久病院
院長　醫學士　高久忠
内科、小兒科、外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科

スペインG・H・N元詰
ゴルフポートワイン
甘味滋養酒　1・10
婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
（平2）　西村屋藥舗　（電3）

平病院（平市元共濟病院跡）電話六四一番
院長　醫學博士　鈴木定藏
内科　院長醫學博士　鈴木定藏
小兒科　部長醫學博士　池谷宗三郎
産婦人科　一般外科　皮膚泌尿器科
レントゲン科　部長醫博士　鈴木定藏
物理的療法科　技師　岡田重德
藥劑科　部長藥劑師　吉本幸平
診療時間……毎日午前八時より午後九時まで夜間診療に從事す（急患は此限にあらず）
往診隋時、病室完備（自炊の便あり）

表代城磐酒銘


山崎合名會社
電話十番

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、發橋瘻漏科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
平市田町（松月堂向ひ）
院長　日本齒科醫學士　日本齒科醫學士　中野齒科醫院
中野憲次　西川誠
電話五〇九番

『看護見習募集』
明雲堂眼科醫院（電話六六九）
平田町（三丁目裏川岸通）
入院應需（自炊の便あり）

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店　關内、正一
平町二丁目　電話一六番
事務取扱者　阿部助次郎

食事。喫茶。酒場を兼ねた。
レストラン
サロン
平田町
電三五二

和洋銅鐵、金物問屋
釜屋商店
電九・九九